

わらび WARABI 市議会 だより

No. **221**
2023・3

編集

蕨市議会広報広聴委員会
TEL／048-433-7733
FAX／048-432-7991
Eメールアドレス
gikai@city.warabi.saitama.jp



目次

12月定例会の概要・主な議案の内容	…… P 2
議案等の賛否結果・訃報	…… P 3
市政を問う！一般質問	…… P 4
請願・陳情の審議方法・編集後記	…… P12

ご意見をお寄せください



今回の表紙は、昨年撮影したみどり保育園の「ひなまつり」の写真です。浴衣でおめかしした表情豊かな皆さんがとてもかわいらしく、輝いて見えますね。

ぜひ、市議会だよりにご意見やご感想をお寄せください。

12月 定例会

定例会の概要

令和4年12月定例会は、11月28日から12月16日までの19日間の会期で開催され、初日に市長から市政の報告が行われました。

11月30日には、提出議案に対する質疑を行ったほか、人事案2件を先議し、原案のとおり同意・推薦としました。

3日間にわたった一般質問では、地球温暖化に対する本市の取り組みや、ごみ収集に関する生活に密着した質問など、14人の議員が市政の課題を取り上げ、執行部の見解を問いました。(4～11ページ参照)

最終日には、陳情1件を採択とし、市長提出議案7件を原案のとおり可決・承認したほか、国の令和4年度第2次補正予算に基づく「出産・子育て応援交付金事業」を実施するための一般会計補正予算案が追加提案され、原案のとおり可決して閉会となりました。

市長提出議案10件を 原案可決・同意・推薦・承認

令和4年12月定例において可決された主な議案の内容

議案第42号 「蕨市将来ビジョン審議会条例」

市の最上位計画である「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンが令和5年度で10年間の計画期間を終えることから新たな将来ビジョンを策定するために必要な調査・審議を行う「蕨市将来ビジョン審議会」を設置します。

新たな将来ビジョンは、市民意識調査や市民ワークショップなどを行い、市民の視点を踏まえ、令和6年度から10年間の計画として策定していきます。

議案第46号 「令和4年度蕨市一般会計補正予算(第5号)」

◆保育所等物価高騰対策給付金

民間の保育施設と留守家庭児童指導室を対象に、物価高騰による運営費の負担増加に対する激変緩和措置として光熱費の上昇相当分を給付します。

給付金額については、民間留守家庭児童指導室が定員1人につき500円を給付するほか、民間認可保育園及び小規模保育園等は定員1人につき1700円を給付します。

◆抗原定性検査キットの無料配布

新型コロナウイルス及び季節性インフルエンザの同時流行を想定して、医療機関のひっ迫の回避に資するため、新型コロナウイルス抗原定性検査キッ

トを無料配布します。対象者は、重症化リスクの低い中学生から64歳までの有症状者と、その有症状者と同世帯で濃厚接触者の可能性がある方で、令和5年1月31日まで配布を行いました。

議案第50号 「令和4年度蕨市一般会計補正予算(第6号)」

◆出産・子育て応援事業

妊婦や低年齢期の子育て家庭に寄り添い必要な支援につなげるため、妊娠届出時、妊娠8か月前後、出産後から乳児家庭全戸訪問までの間に保健師と3回の面談を実施する伴走型相談支援を行います。

また、妊娠届出時の面談後に出産応援金として妊婦1人当たり5万円を給付し、出産後から乳児家庭全戸訪問までの間の保健師との面談後に、子育て応援金として新生児1人当たり5万円を給付する経済的支援を実施します。

すべての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備を目的として、伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施します。

議員提出議案第8号 「北朝鮮による弾道ミサイルの発射に重なる断固抗議し、制裁措置の厳格な履行等を求める決議」

今定例会では、議員提出議案として、

本決議案が提案され、全会一致で可決しました。

決議の全文は次のとおりです。

【全文】 本年11月18日、北朝鮮から発射された弾道ミサイルが、我が国の排他的経済水域である北海道渡島大島西方の日本海に落下したとみられる。

北朝鮮は、これまでにない頻度でミサイル発射を繰り返しており、我が国の安全保障にとって重大かつ差し迫った脅威であり、断じて容認できない。

度重なる弾道ミサイルの発射は、国際連合安全保障理事会決議等への明らかな違反であるとともに、国際社会の平和と安定に向けた努力を踏みにじるものであり、国際社会全体に対する明白な暴挙である。

ここに蕨市議会は、北朝鮮に対し、断固として抗議と非難の意を表明するとともに核兵器及び弾道ミサイル等の開発を即刻放棄し、さらなる軍事的挑発行動の中止を重ねて強く求めるものである。

また、国は、関係国と緊密に協力し、国際連合安全保障理事会決議に基づく制裁措置を完全に履行するとともに、我が国独自の制裁措置をより一層強化し、北朝鮮に対して、拉致問題、核兵器・弾道ミサイル開発といった諸懸案事項の包括的解決に向けた具体的行動を促すよう強く要望する。

令和4年12月定例会における議案等に対する賛否結果

議案番号	議案名	令政 クラブ	日本 共産党	公明党	日本維新 の会・無 所属連合	創誠会	立憲 民主党	無所属 (仮本議員)	結果
陳情第5号	感染症対策における子どもの権利に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	採択
議案第41号	蕨市個人情報の保護に関する法律施行条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第42号	蕨市将来ビジョン審議会条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第43号	市長及び副市長の諸給与支給条例及び蕨市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第44号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第45号	蕨市議会議員及び蕨市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例及び蕨市議会議員及び蕨市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	×	原案可決
議案第46号	令和4年度蕨市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第47号	教育委員会委員の任命の同意について	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第48号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	推薦
議案第49号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度蕨市一般会計補正予算（第4号））	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第50号	令和4年度蕨市一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案 第7号	蕨市議会の個人情報の保護に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案 第8号	北朝鮮による弾道ミサイルの発射に重ねて断固抗議し、制裁措置の厳格な履行等を求める決議	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※議案第45・46・50号については質疑が、議案第45号については討論が行われました。質疑・討論の詳細内容は蕨市ホームページの「蕨市議会」からご覧になることができます。

議員辞職及び会派構成変更のお知らせ

令和5年1月6日付で中野たかゆき氏が蕨市議会議員を辞職したことなどにより、会派構成に変更がありましたので、新たな会派構成を紹介いたします。（◎は会派代表者、敬称略）

令政クラブ 5名	◎前川やすえ	保谷 武	立憲民主党わらび	一関 和一
◎大石 圭子	古川 歩	無所属	三輪かずよし	
今井 陽子		創誠会	小林 利規	
		無所属	榎本 和孝	

日本共産党蕨市議会議員団 4名	◎鈴木 智	山脇 紀子
◎鈴木 智	宮下 奈美	武下 涼
◎大石 幸一	蕨市公明党 3名	根本 浩
◎大石 幸一	◎大石 幸一	根本 浩
◎大石 幸一	◎大石 幸一	根本 浩

訃報



蕨市議会議員 池上智康氏（67歳）が去る1月7日に逝去されました。故池上智康氏は、平成19年に市議会議員に初当選して以来、4期在職され、通算15年半の永きにわたり市議会議員として本市の発展に貢献されてこられました。

その間、第47代及び第51代の2度にわたり市議会議長を務められたほか、市議会副議長を通算で2年間、議会運営委員会委員長を通算で約5年間務められるなど、市議会の運営にご尽力いただきました。

あらためて生前のご功績に対し、敬意と感謝を申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

市政を問う！

一般質問

12月定例会では12・13・14日の3日間で14人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。



議長
保谷 武



一般質問

中野 たかゆき 前議員（日本維新の会・無所属連合）

国政問題？否、蕨市としてやれる事、やるべき事が沢山！！

北朝鮮による人権侵害問題に関して、本市が行う啓発活動について

議員 毎年12月10日から16日までは北朝鮮人権侵害問題啓発週間である。啓発週間中における事業内容はどのようなか。

健康福祉部長 広報蕨12月号に啓発記事を掲載したほか、平成30年度には、拉致問題啓発舞台劇「めぐみの誓い奪還」―蕨市公演を開催した。

議員 来年度以降、予算をかけて周知・啓発に力を入れてほしい。また、学校における授業への活用状況はどうか。

教育部長 拉致問題啓発アニメ「めぐみ」を、各小・中学校において毎年学年を決めて視聴したり、複数年に1度全校で視聴するなど、授業等を中心に継続的に活用している。

議員 児童・生徒の皆さんに知っていただくことを継続的にを行い、人権問題への関心を高めるように取り組んでほしい。また、執行部のブルーリボンバッジ着用はどうか。

健康福祉部長 ブルーリボンは、北朝鮮による拉致被害者の生存と救出を信じる意思表示として青いリボンを着用する活動であり、今後、執行部に限らず市民の方に周知する。

議員 市長をはじめとした執行部の方には、啓発週間だけでなく、バッジをつけて啓発する活動を継続してほしい。

共同養育・共同親権への本市の考え方と支援について

議員 面会交流を組織的に支援している団体の案内状況は、健康福祉部長 埼玉県では1団体で面会交流の支援を行っており、パンフレットを児童福祉課窓口で配布している。

議員 片方の親が子どもを連れ去り、もう片親が会えない状況の実態把握はどのようなか。

市民生活部長 市民活動推進室では、過去5年間で連れ去りに関する事案はなかった。

議員 面会交流の場としての市の施設を利用できないか。

健康福祉部長 一部の自治体



なかの たかゆき

で公共施設の提供事例もあるようだが、まずは先進自治体の事例を調査・研究したい。
議員 最低限度の信頼が醸成されるまでは、適切な場を提供して面会交流を進めることが必要だと考えるので、調査・研究を進めてほしい。
ほかに 「給食時の食卓ルール、学校現場での現状の指導について質問。



日本においても共同親権の制度を導入すべき（左）、救う会HPより（右）

〇ここに掲載されている質問と答弁の内容は要約しています。

ごみの戸別収集について



高齢者や障害のある方は
自力でのごみ出しが困難



みわ かずよし

議員 高齢化社会となり、足が不自由などの理由から、自宅から少し離れたところにあるごみの集積所まで、ごみを持ち出すことができない方が増えており、ごみの戸別収集の要望が強くなっている。本市でのごみの戸別収集はいつから実施するのか。

市民生活部長 他自治体の先行事例を調査しながら、事業内容の検討を進めており、現時点では、令和5年度秋頃の事業開始を目指して、詳細な制度設計に取り組んでいる。

議員 戸別収集の方法はどのようなか。

市民生活部長 ごみ収集車を使用せず、委託事業者が指定日に対象者宅の前に出されたごみを日頃出しているごみステーションへ運ぶといった方法を検討している。

議員 費用負担はどのようになるのか。

市民生活部長 お困りの方がサービスをためらうことなく利用できるよう、本人負担は徴収せず、所得制限も設けない方向で検討している。

議員 戸別収集の対象者をどのように考えているのか。

市民生活部長 自らごみステーションへごみを出すことが著しく困難な上に、他の福祉サービスの利用や身近な人の協力を得ることができない高齢者世帯の方や障害者世帯の方などを考えている。

消防署における資機材等の充実について

議員 近年、温暖化の影響で、各所で大規模災害が発生して

おり、災害対策としての資機材は十分に揃っているのか、不安を感じている。災害時の状況把握のためにドローンの整備状況はどうか。

消防長 導入機器の使用や活用方法、運用体制の整備や職員の育成を含め、先進事例を参考に検討していきたい。

議員 水害時に使用する救命ボートの買い増しはどうか。

消防長 現在、消防本部では、荒川左岸水害予防組合が所有するボートを計6艇配備している。活動人員等々を考えると、ボートの買い増しは、現時点では想定していないが、消防団へのボートの配備については検討していきたい。

議員 近隣市との消防広域化についてどう考えているのか。

消防長 広域化については、まず市民にとって最大限メリットがあるものでなければならぬと考えている。川口市・戸田市・蕨市、3市の機運の醸成等を見極めながら検討していくことになる。



経営改革と病院施設の耐震性が重要な課題

一関 和一 議員（立憲民主党） 本年7月19日の任期満了をもって 潔く後進に道を開くと引退表明！



いちのせき かずい

かかるため、財源の確保は重要な課題となる。市役所庁舎整備と同様に基金の設置は視野に入れているところである。

議員 市立病院において経営改革と合わせて重要な課題は病院施設の耐震性であり、この問題は後回しにはできない課題である。将来を見据えて「市立病院建設整備基金」を創設してはどうか。

病院事務局長 施設によって整備の仕方は異なり、現在具体的な検討を進めている。また、基金の創設については、既存施設の耐震化や建て替えの整備に当たり多額の費用が

健康福祉部長 「あんしんエンディングサポート事業」は、主に身寄りのない一人暮らしの高齢者を対象とし、安否確認のほか、あらかじめ葬儀や納骨費用、家財処分費用など、一定額を預託し、ご自身が亡くなった後の葬儀や死後事務などを実施するサービスである。事業の実施には、実施方法や委託料等に対する効果などの検討が必要であり、他市の事例等調査・研究する。

大規模災害時の対策として
トイレトレーラーの導入を

議員 大規模災害時の活用を見据え、19の自治体が移動設置型トイレ、トイレトレーラーを導入し、にわかに広がりを見せている。本市においても検討してはどうか。

市民生活部長 トイレトレーラーは、災害時の利用を想定して企画・設計された移動設置型の車両で、洋式便座が設置された4つの個室に換気扇などが配備されており、快適に使えといった利点に加え、車体を牽引することにより使用場所へ移動できるといった特徴がある。一方で、トレーラーの維持管理方法、牽引する車両や牽引免許を取得している職員の確保など、課題も多いので、まずは導入事例を調査・研究していきたい。

ほかに 「来年7月19日の任期満了をもって、市議9期36年間の現役生活に終止符を打つ」と発言。

市民の生命と財産を守る消防団に支援を



消防力・防災力向上において重要な役割を担う消防団

議員 平成29年3月、道路交通法が改正され、新たに準中型自動車免許が創設されたことに伴い、同日以降に普通自動車免許を取得した人々が運転できる車両は3.5トン未満に限定された。現在の蕨市消防団に配備されている消防団車両についてはどうか。

消防長 6つの分団には、それぞれ車両総重量3.5トン以上の消防ポンプ自動車を配備していることから、道路交通法改正以降に自動車免許を取得した方が消防ポンプ自動車を運転するためには、準中型自動車免許の取得が必要になる。

現在、活動に支障はないが、将来的には機関員養成に影響が生じる可能性がある。

議員 車両を更新する際には3.5トン未満の車両とすることや免許取得の支援を検討し、市民の生命・財産を守る消防団員を支援してほしい。

下蕨ファミリリー菜園及びびっこ広場ナンバー64について

議員 ちびっこ広場ナンバー64の返還に伴いトイレが撤去となるため、トイレを設置してほしいという要望が下蕨ファミリリー菜園やどんぐり公園の利用者から寄せられている。

今後、下蕨ファミリリー菜園がどんぐり公園にトイレを設置する考えがあるか。

都市整備部長 菜園利用者や公園利用者のニーズを捉え、関係部署と調整しながら整備に向けて検討している。

子どもの感染対策について

議員 マスクの常時着用や黙



こばやし りき

食の実施などの感染対策が子どもの発育に及ぼす影響をどう認識しているか。

教育長 教育委員会では、めりはりのあるマスクの着用を推進しており、常時着用するような指導は行っていない。しかし、長期に及ぶ感染防止

対策により、口腔衛生上の懸念や感情・表情の読み取りが難しく、コミュニケーションに関する懸念がある。また、給食の時間は楽しく食事をする場であるため、黙食により食事を通してよりよい人間関係の形成を図ることが難しいと危惧している。

議員 健康上の理由等により、マスクの着用を選択しない子どもとその保護者にどのような配慮がなされているのか。

教育長 学級等で周知をし、マスクを着用しないことが偏見やいじめにつながるよううに指導している。また、保護者にも通知を配布している。

ほかに 「生活保護受給者の眼鏡作成」について質問。

一般質問

市民に愛される新庁舎について

議員 現在、建設中の市役所新庁舎は令和5年度の秋に竣工予定である。蕨市の象徴となり、交流拠点となるよう大いに期待している。広場、玄関庭や駐車場スペースを貸し出し、イベントに利用することはできないか。

総務部長 イベントにも利用できるよう計画している正面

玄関前の広場、玄関庭及び南側駐車場等では、市主催及び市担当部局が認めるイベントなどでの利用を想定している。

議員 近年、地域の特性を郵便ポストのデザインに反映した「当地ポスト」が作られている。本市も「当地限定郵便ポスト」を設置してはどうか。

総務部長 新庁舎の郵便ポスト本体は蕨郵便局で新品のポストを用意していただく予定で、これに限定デザインを施す場合は、市がラッピングを行う必要がある。市としては、新庁舎開庁に合わせて本市限定デザインのポストとする方針で現在検討を進めている。

議員 他自治体では、株式会社ポケモンとコラボした郵便ポストを設置したり、オリジナルの消印を押してもらえるものもある。ぜひ本市でも検討して、新庁舎が蕨の発信基地となるよう目指してほしい。

ごみ出しルールの徹底を

議員 ごみ出しのルールの周知徹底ができていない状況が見受けられる。対応策についてはどうか。

市民生活部長 本市では、収集日や分別方法等が記載された「ごみの分け方・持ち出し方」を配布している。転入者への配布、さらに外国人住民向けにも作製し、啓発を行っている。引き続き地域住民と協力しながら、ごみ出しのルールが徹底されるよう粘り強く助言・指導を行うなど対応に努める。

議員 事業系ごみの周知及び対策についてはどうか。

市民生活部長 本市及び蕨戸



ふるかわ あゆみ

田衛生センターのホームページに事業系ごみの出し方に関する内容を掲載している。また、各ごみステーションに事業系ごみを発見した場合は、事業者へ直接注意する等、ごみの適切な排出方法について指導を行っている。

議員 カラス対策として、メッシュ式の折り畳み式ごみフエンス等の周知や助成を行うてはどうか。

市民生活部長 大きなフェンスは安全性が確保できないことが懸念される。今後検討していきたい。



蕨市における温室効果ガス削減への取り組みについて

議員 CO₂削減目標を達成するためには、実態の可視化や数値化が必要と考えるが、どのように行いつのか。

市民生活部長 2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減、2050年度までに実質ゼロとするのが課題と認識している。

取り組みを可視化及び数値化することは、地域一体となつて取り組みを遂行する上で有効な手段であると考ええる。

議員 例えば、電気代が今日は幾らと明確に見てわかるように、可視化をすることで職員がCO₂削減を意識して行動することが出来る。全庁的にしっかりと進めてほしい。

市営住宅の利用上の規約について

議員 市営住宅における浴槽や給湯器設置の規定はどうか。

都市整備部長 浴槽や給湯器は入居者負担と規定している。

議員 設備機器の有効活用が可能となるように利用規定を

改正してはどうか。

都市整備部長 入居者が設置した設備機器を有効利用するには、品質等が異なり安全性の確保などから難しいものの、設備機器が不足している現状から他市の動向を調査・研究していきたい。

議員 CO₂削減の観点からぜひ検討願いたい。

ファミリー菜園の役割と持続性について

議員 ファミリー菜園を設置している目的、及び70歳以上の方で継続を希望する方の割合は全体の何%か。

市民生活部長 市民の皆様は気軽に土に親しんでもらうことを目的としており、70歳以上の継続を希望されている方は約50%を超えている。

議員 70歳以上の方から生きがいを感じてきて良かったとの声が寄せられている。仮称「シニアサポートファーム」として建物に伴わない高齢者健康増進施設にファミリー菜



ねもと ひろし

園を位置づけられないか。

市長 作業を屋外で行い、健康増進につながるという点では、まったくそのとおりである。いろいろな方法で都市農業を振興していきたい。

議員 ファミリー菜園を将来も継続するための方策として、土地を取得することは可能か。

市民生活部長 菜園用の広い土地の確保は、今後ますます困難になると予想される。菜園に適した土地の確保に努めていきたい。

ほかに 「マイナンバーカードの推進」について質問。



いろいろな野菜が育つファミリー菜園
農作業は健康長寿につながる

子どもたちの未来のために 安心した環境整備を

議員 保育園等への送迎バスや自家用車に子どもが取り残される痛ましい事故が全国で起きている。本市の対応は。

健康福祉部長 安全管理の徹底を求める国からの通知を各園に周知した。

議員 蕨でも起こらないよう、しっかりと対策を。また、安倍元首相の事件以来、宗教2世について全国的に問題化している。本市の相談体制は。

市長 子どもたちの幸せがないがしろにされ、犠牲になるのは非常につらい状況だ。宗教が関わるとタッチしづらい



廃止を含めた検討が進む信濃わらび山荘

側面があつたかもしれないが、実態は虐待に当たる。しっかりとした相談体制をとりたい。

議員 信濃わらび山荘について、市長は「廃止も含めた検討に着手」と発言している。今後の見通しは。

市長 信濃わらび山荘は、自然の少ない蕨にとって重要な役割を担ってきた。しかし、社会環境の変化もあつて利用が減り、施設の老朽化もある。市民意識調査では「市が直接施設を持つのではなく民間の代替施設も含めて考えたほうがよい」という意見が一番多かった。廃止も含めて検討せざるを得ない時期に来ている。

議員 利用を楽しみにしている人もいる。仮に廃止となつても、他の施設を使った場合に補助を出すなどの代替措置をしっかりとってほしい。

大型複合遊具での負傷事案 市民に情報公開し再発防止を

議員 今年の5月に発生した蕨市民公園の大型複合遊具で



えのもと かずたか

の利用者負傷事案の内容は。

都市整備部長 ロングスライダーの表面が高温となり、4歳児が臀部にやけどを負い、一部の管理瑕疵について4万4920円を支払った。

令和5年度予算編成に向け市民からの税金を無駄なく使って

議員 令和5年度予算に向けた編成方針が10月に示された。この中で各部署に既存事務事業の見直しなど、合理化・効率化などを求めている。昨年同様の指針を出してどのような実績があつたか。

総務部長 土庫積算システムを県のシステムから民間のソフトに変更し年間40万円の費用削減につながったり、消毒液を施設ごとに購入していたものを一括購入したりした。

議員 細かい金額でも積み上げれば大きな金額となる。方針が単なるお題目とならないよう取り組んでほしい。

大石 圭子 議員（令政クラブ）

精神障害への取り組みを問う

暮らしの場を施設や病院から地域へ

議員 精神疾患を有する患者数は増加傾向にあり、平成29年には約420万人で、脳血管疾患や糖尿病を上回っている。本市の精神障害保健福祉の窓口は他市と異なり保健センターである。そのため、精神保健福祉の業務量は増加し、保健センターの総業務量の3分の1程度を占めると聞



保健センターには0名の精神保健福祉士7名を有する「糸ぐるま」

くが、その事業状況はどのようなか。

健康福祉部長

精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療費の申請受理などの事務と、こころの健康相談、精神障害者の社会参加の場であるソーシャルクラブ、自殺対策などの各種精神保健業務を所管している。

議員

市内で精神障害者支援をしているNPO法人「糸ぐるま」との協働事業の内容と成果はどのようか。また、これからの連携強化は欠かせな

いと思われるが、いかがか。

市民生活部長

ひきこもりに関する支援活動として、電話やメール相談を延べ74件、窓口相談を延べ29件実施した。

健康福祉部長

連携強化については地域の支援団体とより一層一体化して取り組みたい。

議員

「糸ぐるま」は就労継続支援B型事業所としても活動し、蔵戸田衛生センター内のリサイクルフラワーセンターで作業を行っているが、市の第6期障害者福祉計画の基

健康福祉部長

本目標である「雇用・就労の促進」などの観点から就労支援として雇用者数や就労時間の拡大をどう考えるか。

健康福祉部長

障害のある方の就労を支える機関とリサイ



おいし けいこ

クルフラワーセンターのような働く場を提供する企業等との連携により、障害者雇用が進められているものと理解している。今後とも関係機関と連携して、障害者雇用の拡大に努めていきたい。

公園樹木の管理について

議員 公園樹木の落葉が地域の困りごとになっている。伸び過ぎた枝の剪定や伐採はどのように決定して今後の維持管理をどう考えていくのか。

都市整備部長

各公園の状況を十分把握しながら、定期的な維持管理に加え、状況に応じて強剪定や間伐などの対策も実施していきたい。

議員

剪定教室などを開催し、自主管理団体による中低木の剪定などの作業拡大は可能か。

都市整備部長

自主管理団体の代表者会議の場で、場合によっては剪定知識など樹木の手入れ方法の講演会等を開催するなど、対応していきたい。

一般質問

鈴木 智 議員（日本共産党）

高齢者支援・見守り体制の拡充を

議員 コロナ禍による外出機会減少等の影響により、認知症の増加が懸念されている。地域包括支援センターへの認知症に関する相談件数はどのように推移しているか。

健康福祉部長 令和元年度は746件、2年度は804件、3年度は1759件と、年々増加している。

議員 体制の強化なども要因とは思いますが、認知症の相談等のニーズは増加している。一人暮らし等の場合はより深刻と考える。高齢者等の見守りの取り組み状況はどうか。

健康福祉部長 コミュニティを活性化させ、新たな見守りの蔵戸版が構築できるよう、他市の事例を含め研究したい。

議員 市長の見解はどうか。

市長 超高齢社会は日本全体が抱える課題。一人暮らしの高齢者や認知症の対応等は重要と考える。昨年の3か所目となる地域包括支援センター



地域包括支援センターは高齢者をささえる総合相談窓口（写真は第一地域包括支援センター）

健康福祉部長 社会福祉協議会各支部での愛の給食、民生委員や地域住民による見守り活動の他、町会、高齢者クラブ等の取り組み、孤立死防止を目的とする事業者との「見守りネットワーク活動」に関する協定、地域包括支援センターを中心とする見守り、福祉連絡システム、安否確認を行う配食サービスを行っている。

議員 多くを担う地域包括支援センターの体制拡充を要望する。事業者と市民なども含むネットワークが必要。他市ではNPOによる見守り等の事例もあるが、市の事業として検討する考えはないか。

健康福祉部長 コミュニティを活性化させ、新たな見守りの蔵戸版が構築できるよう、他市の事例を含め研究したい。

議員 市長の見解はどうか。

市長 超高齢社会は日本全体が抱える課題。一人暮らしの高齢者や認知症の対応等は重要と考える。昨年の3か所目となる地域包括支援センター

の設置は大きな改善につながっている。いきいき百歳体操、社協の有償ボランティア等、多様なチャネルを使って認知症支援、高齢者等の見守りにつなげていきたい。



すずき さとし

市内事業者への支援

議員 緊急対策第7弾の対象とならなかった事業者への支援を行う考えは。また、複雑な社会状況の中で事業者に寄り添った支援が必要。リニューアル助成の検討状況はどうか。

市民生活部長 感染状況や事業者等の経営環境の他、これまでのコロナ対策支援事業の実施結果等を踏まえ必要な支援を検討していく。リニューアル助成は、改装費等の一部を補助し、専門家のアドバイザー等を行うもの。令和5年度からの実施に向け、商工会議所と協議し検討を進めている。

ほかに 「学校でのコロナ対策と教職員の負担軽減、教員体制の拡充」等について質問。

本田 てい子 議員（公明党）

妊娠・出産・子育てまで 伴走型相談支援の充実を

議員 伴走型相談支援の充実についてどのような考えを持っているか。

健康福祉部長 妊婦や低年齢児の子育て家庭に寄り添い、必要な支援につなぐため、3回にわたり面談を実施し、安心感や孤立した子育ての防止につなげていくものと認識している。



伴走型相談支援で妊婦及び子育て家庭に安心を

議員 今回の伴走型相談というのは、今までの支援とどこが大きく違うのか。

健康福祉部長 妊娠すると出産を応援する交付金、出産後は子育て応援交付金の支給といった経済的な支援が加わる。また、相談の支援の中では、アンケートの実施を追加し、どういったサービスが必要な



ほんだ ていこ

生体重児の成長、発達の記録には使いづらいため、令和4年10月現在、11県6市でリトルベビーハンドブックが運用されている。県においても、埼玉県版リトルベビーハンドブックの作成について検討を進めていると聞いており、動向を注視していきたい。

議員 ぜひ速やかに対応していただきたい。

带状疱疹ワクチン接種の助成について

のか、保健師がアドバイスをして利用を案内し、妊娠期から寄り添って伴走していく流れとなっている。

リトルベビーハンドブックを導入してはどうか

議員 リトルベビーハンドブックは、母子健康手帳のサブブックとして発行され、小さく生まれた赤ちゃんのことを記録できるよつ、様々な配慮がなされている。全国で広がり始めており、本市も導入してはどうか。

健康福祉部長 一般に配布される母子健康手帳では、低出

議員 带状疱疹ワクチン接種の助成をすべきと考えるが、見解はどのようか。

健康福祉部長 厚生労働省において定期接種化の検討が進められている。国の動向を踏まえながら調査・研究したい。

議員 带状疱疹を発症する高齢者が急増している。国からの情報がなくとも、本市として市民をどう守っていくかを検討してほしいと要望する。

ほかに 「エアロゾル感染対策」等について質問。

武下 涼 議員（日本共産党）

生きる力を育む「食育」の推進・蕨駅西口 再開発事業における交通安全対策の強化

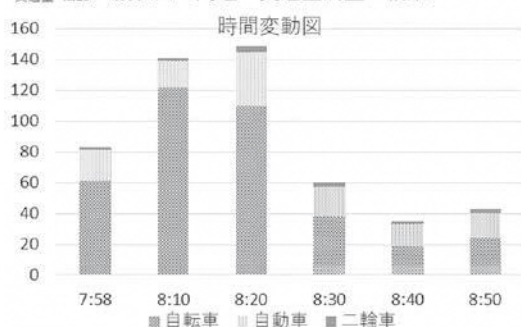
議員 食育推進施策は、公的機関等や地域の取り組みの発展や支援、多様な連携が必要と考える。また、「オーガニック給食」の実施自治体が広がりに始めている。有機農産物・食品の効果や学校給食・保育所等に導入するに当たり、課題があるとすればどのようなことが考えられるか。

健康福祉部長 有機農産物・食品の効果として、国の基準に基づき、化学的に合成された肥料、農薬の使用を避け、環境への負荷をできる限り少なくする方法で生産され、自然資源の循環によって支えられ、人にも環境にも優しい農産物・食品であると考えている。

保育所等の給食に導入する課題は、現在の有機農産物・食品は生産流通量が少なく、安定した供給が見込めるかどうかや、食材料費が上がるかなどが課題として考えられる。

教育部長 効果や課題については健康福祉部と同じである。調査・研究していきたい。

蕨駅西口周辺の交通量調査の結果



周辺歩行者の安全対策 通学道路路整備の拡充を

議員 工事エリアの交通安全対策を強化してほしいという声を伺い、今回、交通量調査

健康福祉部長 農政との関わりといった観点も留意しながら内容の充実に努めたい。

議員 多様な連携推進として農政との連携も重要だと考える。本市の食育推進の次期計画をより充実した内容にしていただきたい。



たけした りょう

市民生活部長 通勤・通学の時間帯はかなりの人の数、自転車などの数も増加している。まず、電柱幕を掲示しつつ、長いスパンで考え、道路標示等も合わせて考えていく。

議員 埼玉県通学道路整備計画以外の整備・修繕について、北町1丁目の一方通行道路の侵入、自転車運転マナー向上の強化と蕨陸橋の逆走対策、中央3丁目の信号機のない交差点の安全強化、劣化した路面標示の修繕など、引き続き対策を強めていただきたい。

ほかに 「蕨市個人情報保護制度の市民関与と改正個人情報保護制度の変更点及び市民の権利に関する広報の充実」を要望。

地球温暖化防止に 思い切った対策を市長に問う

議員 気候危機打開や地球温暖化防止への意気込みや先進的な取り組みを期待するが、市長の考えはどうか。

市長 CO₂削減は年平均15・8%に比べ、本市は25・2%（2013年度比）と進んでいる。さらに充実させていく。

第3次環境基本計画は、カーボンニュートラルの取り組みが大きな柱となる。市民と行政、事業者が一体となって取り組んでいける計画をつくり、思い切った施策を打ち出していきたい。日本一コンパクト



焼却熱を公共施設の電力に利用している衛生センター

なまちからカーボンニュートラルを発信していきたい。先進的な役割を果たせるような計画をつくり、実行していきたい。

ごみ収集とごみステーションについて

議員 ごみの戸別収集への検討状況はどうか。

市民生活部長 事業内容の検討を行い、現在は令和5年度秋頃の事業開始を目指す。

議員 資源物収集がごみ、高齢者にとっては重くて配置や片付けが大変であるとの声があるが、誰でも取り扱いやすいかごみネットへと改良する考えはどうか。

市民生活部長 取り扱いやすいかごみネットへの改良は、

新たな製品の情報収集に努め、最適な対応策を検討していく。

地域の課題―福祉入浴券及び公園等の整備について

議員 福祉入浴券を戸田市内の浴場でも利用できるように拡



やまわき のりこ

充してほしい。

健康福祉部長 戸田市中町にある「一の湯」に協力依頼を行ってきたが、戸田市と本市の利用システムの違いから実

現には至っていない。引き続き、利用の実現に向け協議していく。

議員 公園や桜並木等はだいぶ時がたち、太い枯れ枝の落下や老木による倒木の心配が市民から指摘されている。公園や道路等の枯れ葉についても、市民の高齢化により清掃ができていないと困っているとの声が多数聞かれるようになった。公園等の樹木は定期的に点検や剪定をしてほしいとの要望が常にあるが、どのような対応がなされているか。

都市整備部長 大木化・老木化した樹木や、サクラやケヤ

キなどの落葉樹の数も多いため、今後適正な樹木の保全を図りつつ、できる限り近隣の皆様の負担が軽減されるよう、各公園等の状況に応じた対応を適宜実施していきたい。

一般質問

女性の創業支援の拡充を 視覚障がい者が元気になる施策

議員 女性の市民から「来年（2023年）本市の実家を事業所として起業したい。東京都は女性起業家への補助金があると聞いた。埼玉県や本市にはないようだ」という相談を受けた。女性の創業

はダイバーシティの観点からも推進したい。また、国の男女共同参画の重点方針でも「女性の経済的自立や女性が尊厳と誇りを持つて生きられる社会の実現を目指す」と示されている。補助金や助成金制度についてはどのようなか。

市民生活部長 女性の創業に限った制度ではないが、上限200万円の国の小規模事業者持続化補助金メニューの創業枠について、令和元年度申請1件・採択0件、2年度申請1件・採択1件。県では、3年度から開始した新しい技術やアイデアにより社会課題の解決を図る上限100万円の社会課題の解決につながる創業支援事業補助金があり、市内では3年度に申請1件で

不採択となっている。本市では、空き店舗を活用して創業を目指す方に空き店舗有効活用事業助成金制度があり、店舗改修に50万円、広告宣伝費用に10万円を上限に活用するもので、2年度に1件、4年度は4件の申請があった。

議員 コロナ禍ということもあり、特に女性の働く場について困難がある。例えばコワーキングスペースを自治体で運営し、20万円の市独自の支援制度の創設や、女性起業家には空き店舗やコワーキングスペースを優先して契約できる優遇制度の創設など、本市独自の新しい施策を提案する。

視覚障がい者が元気になる施策を

議員 当事者である市民から、日常生活の切実な悩みを聞いている。移動支援や同行援護、緊急時の福祉連絡システム、日常生活介助やCDデッキ、時計や体温計等の支給サービスの受給などについて、市の



みやした なみ



マッサージチェア等を設置して更なる居場所づくりの充実を（写真は松原会館）

SDGs「目標3すべての人に健康と福祉を」「目標4質の高い教育をみんなに」の観点から

議員 本市における予防医療のための事業についてはどのようなか。

健康福祉部長 1次予防の取り組みとしては、予防接種をはじめ健康相談や健康教育を実施し、2次予防の取り組みとしては、健康診査やがん検診、歯周疾患検診等を実施している。

議員 子宮頸がんは予防可能ながんであるが、キャッチアップ接種を知らない方がいる未接種者への周知についてどのように考えるか。

健康福祉部長 令和4年度当



肺炎球菌ワクチンの受診券

初に、全定期接種対象年齢の方へ個別勧奨通知を送付している。今後も通知を送付するほか、広報、ホームページによる周知に努めていきたい。

議員 肺炎球菌ワクチン接種について、60歳以上65歳未満で免疫抑制効果のある薬を服用している方のうち、希望される方を助成の対象に入れていただきたいがどうか。

健康福祉部長 免疫抑制剤を服用し、肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高いと考えられる方に、任意接種を行っている。任意接種への助成は課題が多くなかなか難しい現状があるが、他の自治体の動向を踏まえて研究している。

帯状疱疹ワクチンの助成事業の実現を

議員 帯状疱疹の予防についての本市の認識はどのようなか。

健康福祉部長 帯状疱疹は、日頃の体調管理により免疫力を低下させない生活習慣が大切であるとともに、有効な予



いまい ようこ

防法はワクチン接種であること認識している。

市長 ワクチン接種は相当高い効果が検証されて、安全性も確認されている。国の動向や最新状況を確認しながら、市独自の取り組みも含めて考えていきたい。

不登校対策の充実を

議員 現在実施している対策はどのようなか。

教育長 不登校の児童・生徒に対し、面談や家庭訪問を行っている。さらに、スクールカウンセラーやスクールソーシャル・ワーカーも交えた教育相談部会の開催及び臨時でケース会議等を行うなど、組織的に対応をしている。

議員 今後どのように対策を講じる必要があると考えるか。

教育長 不登校の児童・生徒たちの社会的自立を目指し、今後も連携協力体制を保ちながら、個に応じた具体的な対策の検討を行っていく。

議会報告会を配信中です！ ぜひご覧ください

令和4年11月8日に行われた「第7回議会報告会」をインターネットで録画配信しています。議会のしくみや各常任委員会からの説明、質疑応答など、議員が一丸となって取り組んでいる議会報告会の様子をぜひご覧ください。

現在もインターネットで録画配信中！



動画は蕨市議会ホームページからもご覧いただけます

QRコードを読み取ると、すぐに動画を視聴することができます。



議会中継を実施しています！！

蕨市議会では、インターネットによる本会議の議会中継（ライブ中継・録画放映）を実施しています。市民の皆様には、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市議会の傍聴を控えていただくようお願いをしております。パソコンやスマートフォンなどでいつでも簡単に視聴することができますので、ぜひご覧ください。

インターネット中継・録画放映を含む市議会のくわしい情報は、蕨市議会のホームページをご覧ください。

蕨市議会

検索



QRコードを読み取って
ご覧いただくことができます！

